

## Ver0.96新機能の紹介

### ① ファイル監視機能

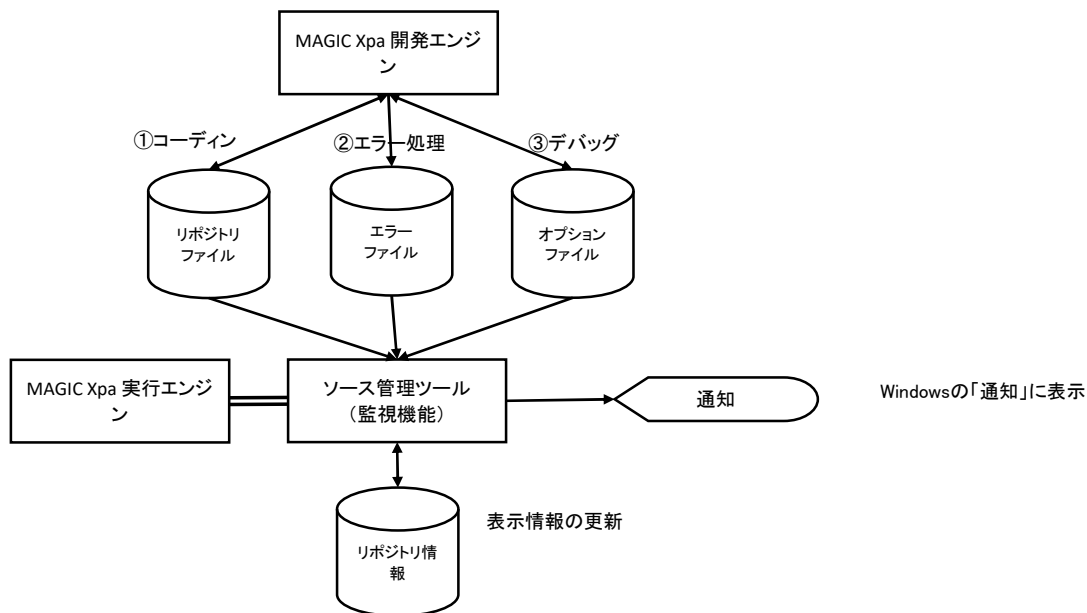
開発作業を支援する機能として、下記のファイル監視機能を実装しています。  
検出時は、Windowsの「通知」に表示します。

- 1) MGERRORLOG の監視
- 2) ソースファイルの更新監視
  - a) リポジトリファイル
  - b) 個別プログラムソースファイル
  - c) オプションファイル(「プロジェクト名.opt」ファイル)

エラー発生時刻とその主要なメッセージ

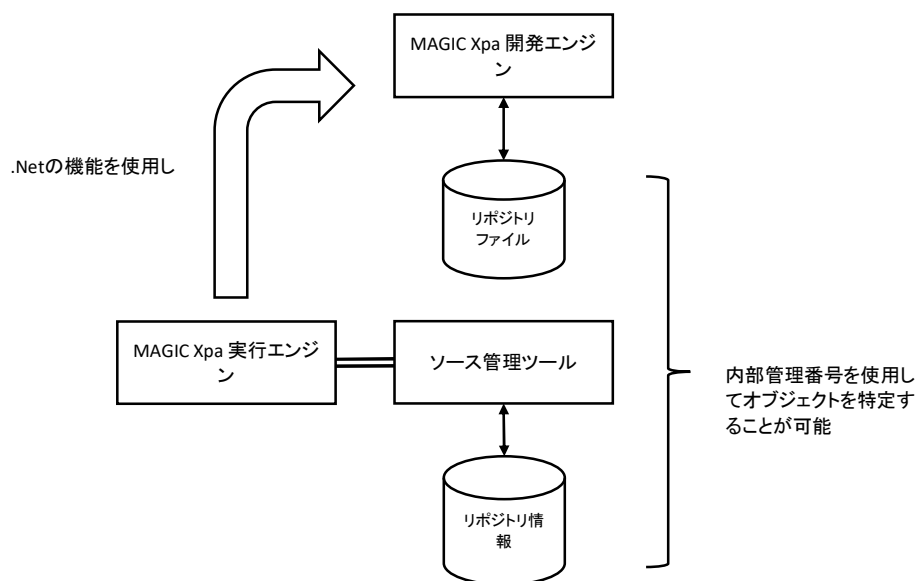
モデル、データ、プログラム、ヘルプ、権利、メニュー、コンポーネント等のリポジトリファイルの更新  
プログラム番号1から始まる個別のプログラムソースファイルの更新  
ブレークポイント、ウォッチリスト等の情報を管理するファイルの更新

リポジトリ情報の変更を検出した場合は、取得した情報によりツールの表示内容を更新します。



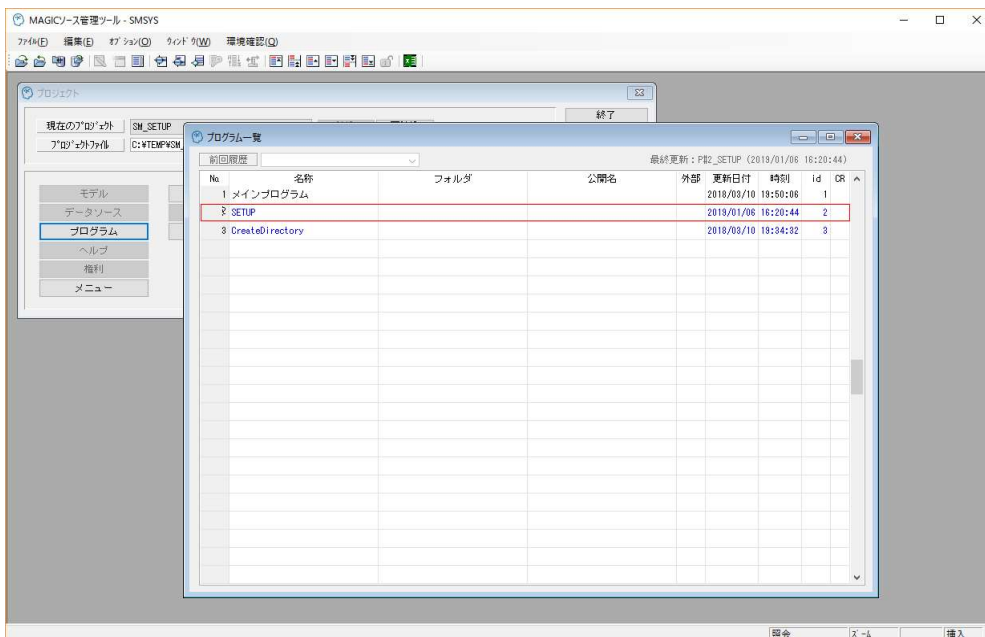
### ② 「開発版へ」機能

表示中のオブジェクトを開発版で開く機能を実装しました。  
(「Upgrade Manager」の「Goto object in the studio」イベントで実装されているソースを参考にさせて頂きました)

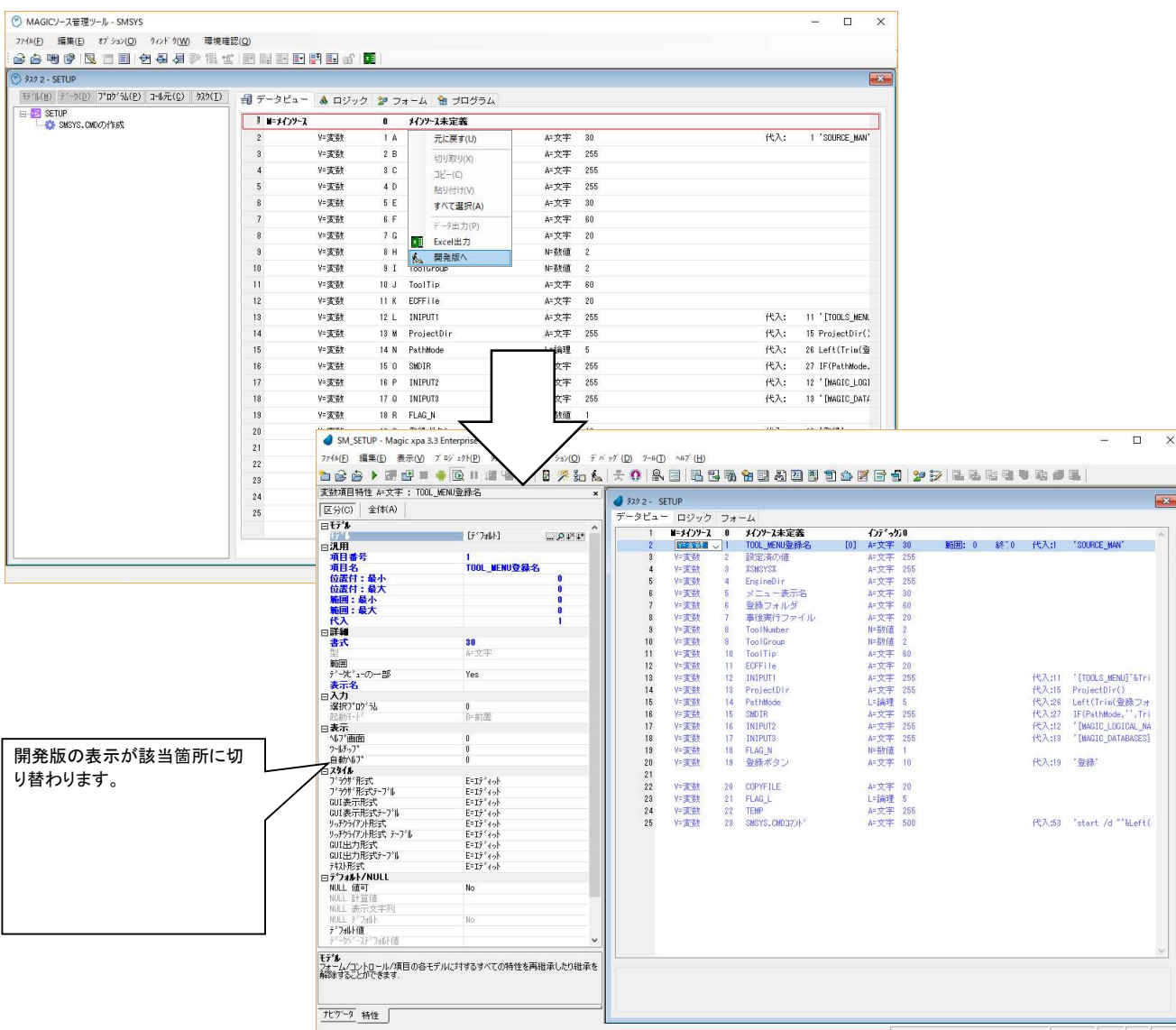


## ＜実行例①「開発版へ」機能＞

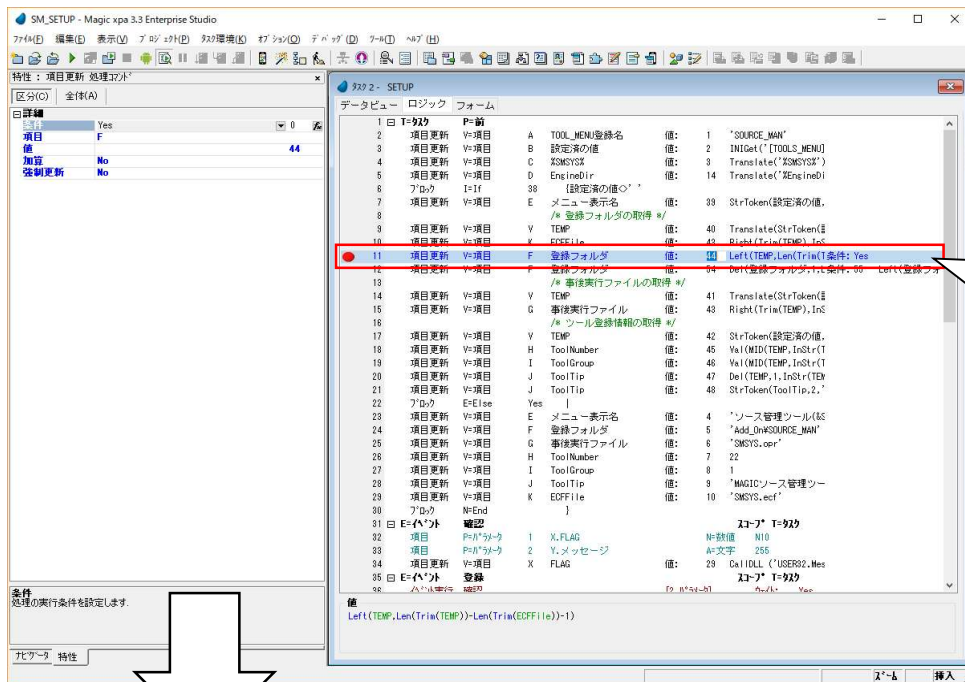
#2の「SEUP」プログラムにカーソルを合わせ「F5:ズーム」します。



データビューが表示されます。タブを切り替えることにより、ロジック、フォーム等に切り替え可能です。コンテキストメニューから「開発版へ」を選択すると、並行して起動している開発版の画面が該当箇所に切り替わります。



## <実行例②「ファイル更新監視」機能>



オプションファイル(プロジェクトフォルダ内の「プロジェクト名」.optファイル)の更新を検出して通知がポップアップします。

「ブレイクポイント情報」メニューを選択することにより、設定箇所を表示することが可能です。

「ブレイクポイント情報」をクリックすると、設定済みブレイクポイントの一覧が表示されます。

任意のブレイクポイントでズーム(「F5」キー)するとプログラムソースの内容を表示するとともに、該当位置に位置付けします。

「開発版へ」を選択すると、ブレイクポイントを設定した箇所に、開発版の表示が切り替わります。

有効	PK	名前	行	条件	値
<input checked="" type="checkbox"/>	2	SETUP	11	正常時	

日	時刻	P	前	項目	値	値
1	T=時刻	P=前				
2	項目更新	Y=項目	A	TOOL_MENU登録名	値: 1	"SOURCE_MAN"
3	項目更新	Y=項目	B	設定済の値	値: 2	INIDGet(' [TOOLS_MENU] 'Trim(TOOL_MENU登録名))
4	項目更新	Y=項目	C	XSMSYS	値: 3	Translate('XSMSYS')
5	項目更新	Y=項目	D	EngineDir	値: 14	Translate('XEngineDir')
6	項目更新	Y=項目	E	メニュー表示名	値: 39	StrToken(設定済の値,2,'')
7	項目更新	Y=項目	F	登録フォルダ	値: 40	Translate(StrToken(設定済の値,4,''))
8	項目更新	Y=項目	G	EDFFile	値: 43	Right(Trim(TEMP),InStr(Trim(TEMP),' ')-1)
9	項目更新	Y=項目	H	登録フォルダ	値: 44	Left(Trim(TEMP),Len(Trim(TEMP))-Len(Trim(EDFFile))-1)
10	項目更新	Y=項目	I	登録フォルダ	値: 54	Del(登録フォルダ,1,Len(Trim(EDFFile)))
11	項目更新	Y=項目	J	登録フォルダ	値: 41	Translate(StrToken(設定済の値,4,''))
12	項目更新	Y=項目	K	登録フォルダ	値: 43	Right(Trim(TEMP),InStr(Trim(TEMP),' ')-1)
13	項目更新	Y=項目	L	登録フォルダ	値: 42	StrToken(設定済の値,8,'')
14	項目更新	Y=項目	M	登録フォルダ	値: 45	Val(MID(TEMP,InStr(TEMP,' ')-1))
15	項目更新	Y=項目	N	登録フォルダ	値: 46	Val(MID(TEMP,InStr(TEMP,' ')-1))
16	項目更新	Y=項目	O	登録フォルダ	値: 47	Del(TEMP,1,InStr(TEMP,' ')-1)
17	項目更新	Y=項目	P	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
18	項目更新	Y=項目	Q	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
19	項目更新	Y=項目	R	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
20	項目更新	Y=項目	S	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
21	項目更新	Y=項目	T	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
22	項目更新	Y=項目	U	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
23	項目更新	Y=項目	V	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
24	項目更新	Y=項目	W	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
25	項目更新	Y=項目	X	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
26	項目更新	Y=項目	Y	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
27	項目更新	Y=項目	Z	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
28	項目更新	Y=項目	AA	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
29	項目更新	Y=項目	AB	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
30	項目更新	Y=項目	AC	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
31	項目更新	Y=項目	AD	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
32	項目更新	Y=項目	AE	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
33	項目更新	Y=項目	AF	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
34	項目更新	Y=項目	AG	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
35	項目更新	Y=項目	AH	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
36	項目更新	Y=項目	AI	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
37	項目更新	Y=項目	AJ	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
38	項目更新	Y=項目	AK	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
39	項目更新	Y=項目	AL	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
40	項目更新	Y=項目	AM	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
41	項目更新	Y=項目	AN	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
42	項目更新	Y=項目	AO	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
43	項目更新	Y=項目	AP	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
44	項目更新	Y=項目	AQ	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
45	項目更新	Y=項目	AR	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
46	項目更新	Y=項目	AS	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
47	項目更新	Y=項目	AT	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
48	項目更新	Y=項目	AU	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
49	項目更新	Y=項目	AV	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
50	項目更新	Y=項目	AW	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
51	項目更新	Y=項目	AX	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
52	項目更新	Y=項目	AY	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
53	項目更新	Y=項目	AZ	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
54	項目更新	Y=項目	BA	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
55	項目更新	Y=項目	BB	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
56	項目更新	Y=項目	BC	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
57	項目更新	Y=項目	BD	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
58	項目更新	Y=項目	BE	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
59	項目更新	Y=項目	BF	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
60	項目更新	Y=項目	BG	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
61	項目更新	Y=項目	BH	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
62	項目更新	Y=項目	BI	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
63	項目更新	Y=項目	BJ	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
64	項目更新	Y=項目	BK	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
65	項目更新	Y=項目	BL	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
66	項目更新	Y=項目	BM	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
67	項目更新	Y=項目	BN	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
68	項目更新	Y=項目	BO	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
69	項目更新	Y=項目	BP	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
70	項目更新	Y=項目	BQ	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
71	項目更新	Y=項目	BR	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
72	項目更新	Y=項目	BS	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
73	項目更新	Y=項目	BT	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
74	項目更新	Y=項目	BU	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
75	項目更新	Y=項目	BV	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
76	項目更新	Y=項目	BW	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
77	項目更新	Y=項目	BX	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
78	項目更新	Y=項目	BY	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
79	項目更新	Y=項目	BZ	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
80	項目更新	Y=項目	CA	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
81	項目更新	Y=項目	CB	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
82	項目更新	Y=項目	CC	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
83	項目更新	Y=項目	CD	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
84	項目更新	Y=項目	CE	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
85	項目更新	Y=項目	CF	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
86	項目更新	Y=項目	CG	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
87	項目更新	Y=項目	CH	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
88	項目更新	Y=項目	CI	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
89	項目更新	Y=項目	CJ	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
90	項目更新	Y=項目	CK	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
91	項目更新	Y=項目	CL	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
92	項目更新	Y=項目	CM	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
93	項目更新	Y=項目	CN	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
94	項目更新	Y=項目	CO	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
95	項目更新	Y=項目	CP	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
96	項目更新	Y=項目	CQ	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
97	項目更新	Y=項目	CR	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
98	項目更新	Y=項目	CS	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
99	項目更新	Y=項目	CT	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')
100	項目更新	Y=項目	CU	登録フォルダ	値: 48	StrToken(ToolTip,2,'')

### ＜実行例③「エラー監視」「ソース更新監視」機能＞

適当な箇所にエラーコマンドを入れプログラムを修正

プログラムの変更を検知

ファイル変更検出

プログラム実行時に記録されるエラーログの更新を検知し、それを通知

ファイル変更検出